

**第8回 旭川駅周辺かわまちづくり計画
推進WG**

説明資料

令和8年3月26日

(1) 前回WGの振り返り

第7回推進WGの概要

【開催日及び開催場所】 令和8年1月20日（木）18:00～19:30 旭川合同庁舎 東館1階 入札執行室
【議事】 分科会の実施報告、各事業の報告、重点的な活動方針に対する状況・予定、今後のスケジュールについて

出席委員名簿（敬称略、五十音順）

氏 名	所 属 等
荒屋 清美	旭川サイクリング協会
荻野 雄斗	（一社）大雪カムイミンタラ DMO
億貞 拓磨	Field of Dreams
小原 広士	北海道教育大学付属旭川小学校
川辺 英行	旭川市科学館
佐藤 勉（座長）	ミズベリング旭川
鈴川 雄太	（一社）旭川観光コンベンション協会
寺島 一男	大雪と石狩の自然を守る会
	北海道アクティビティオーガナイズーション 小瀬氏
	旭川市土木部土木総務課
	旭川市土木部公園みどり課
	旭川市学校教育部教育指導課
	旭川市立大学 等
事務局	旭川市地域振興部地域振興課
	旭川開発建設部治水課・旭川河川事務所

WGでの主な意見

議題	主な意見
分科会	・ ツインハーブ上流の取付道路から常時自動車が入ってくる状況になるのであれば、自転車や歩行者の安全対策をすべきだと思う。 ・ 氷点橋周辺にカワセミが生息しているようなので、現地で営巣状況を確認した上で旭川駅南口の親水広場の工事を慎重に行ってほしい。
各事業の報告	・ 旭川観光物産情報センターで熊スプレーを貸し出しているようだが、なるべく効果が高いものを使用した方が良い。 ・ 万が一に備えて、動画等で熊スプレーの使い方を利用者に教えるのが望ましい。 ・ 現場から熊スプレーの講習等を開催したいという声が上がっており、今後連携していきたい。
その他	・ 今後協力できるような事業者を探していきたいので、工事完了等の情報がわかると良い。 ・ ミズベリング旭川、Field of Dreams、北海道アクティビティオーガナイズーションが、かわまちづくりの相互協力の合意書を交わした。



(2) 分科会の実施報告

① 環境・施設設計分科会

旭川市駅周辺かわまちづくり計画推進ワーキング

第3回 環境・施設設計分科会 開催概要

【開催日・場所】 令和8年3月13日（金）13:30～15:00 旭川合同庁舎 東館1階 入札執行室

【議事】 ①前回分科会の振り返り、②牛朱別川側帯（休憩スペース）のサインについて、③ツインハーブ橋上流箇所のサインについて、④神楽岡公園箇所の工事用道路について、⑤旭川駅南口箇所の修正設計について、⑥河道掘削と産卵床の関係について

分科会出席者	
佐藤 勉（座長）	ミズベリング旭川
寺島 一男	大雪と石狩の自然を守る会
億貞 拓磨	Field of Dreams
馬場 仁志	北海道力ヌー協会
川辺 英行	旭川市科学館
事務局	旭川市 地域振興部 地域振興課
	旭川開発建設部 治水課・旭川河川事務所

箇所	分科会での主な意見
牛朱別川側帯（休憩スペース）のサイン	・側帯の天端がウッドチップで自転車に乗るのに適しているかどうか、サイクリング関係者に確認しておいた方がいい
ツインハーブ橋上流箇所のサイン	・もう少し遊び心があってワクワクする楽しい感じが伝わるような看板がいい ・サケやサクラマス産卵場所の中を利用するので、サケに関する注意事項は必要だと思う
神楽岡公園箇所の工事用道路	・一般車両との干渉も考えながら、できるだけ樹木等を減らさない方向で最低限の施工とするべきである
河道掘削と産卵床の関係	・各年度の産卵床のデータを積算棒グラフにすることで、どこに産卵床が一番多かったか把握できる ・石狩川で産卵床数が増えて、忠別川で半減している背景に何かあるのか検討してほしい ・産卵床の良い環境、魚が生息する環境、生態系に適した環境に関する研究成果を活かして産卵床を人工的に創り出すことにチャレンジしてみてもいい

分科会の状況



説明資料（抜粋）

7 牛朱別川側帯（サイン看板のデザイン）

【休憩スペースのサイン】

- ・デザインは、ピクトサインを基本としたい。
- ・色調は「石狩川上流サイン設置指針」の指定色を用いて既存の看板や周辺環境との調和を図る



QRコードはサイクルMAPへ

大きなイメージ（人物画像はフリー素材）

14 ツインハーブ橋上流（注意サインのデザイン）

【利用の手引きとなる注意書きサイン】

- ・親水広場の駐車スペースの脇に、利用上の注意事項を書いた看板を設置したい
- ・デザインは、ピクトサインを基本としたい

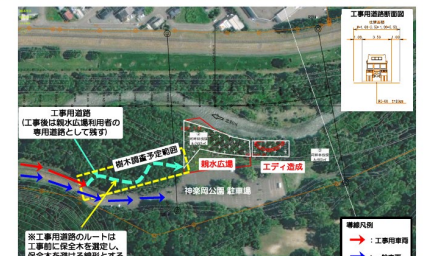


大きなイメージ（人物画像はフリー素材）

18 神楽岡公園 仮設平面図

◆親水広場の仮設平面図

- ・工事用道路は、親水広場利用者の専用道路として残す計画とする
- ・工事用道路のルートは工事前に植物調査（保全木選定）を行い、保全木を避ける線形とする



34 河道掘削と産卵床の関係

9 河道掘削と産卵床の関係

◆総括表（再掲）

区分	R1 サケ産卵床数	R2 サケ産卵床数	R3 サケ産卵床数	R4 サケ産卵床数	R5 サケ産卵床数	R6 サケ産卵床数
旭川川全体 R1～R6 4	157	160	274	325	392	246
工事実施区画 R2～R6 4	58	67	135	199	174	77
全体に占める工事実施区画の割合（%）	58/157 = 36.9%	67/160 = 41.9%	135/274 = 49.3%	199/325 = 61.2%	174/392 = 44.4%	77/246 = 31.3%
【参考】 旭川川全体と工事実施区画のサケ産卵床数	1,057万尾	1,318万尾	1,471万尾	2,637万尾	1,798万尾	1,314万尾
						496万尾



第2回分科会での主な意見と対応案

No.	意見	対応案
【牛朱別川側帯箇所】		
1	・この場所がサイクリングの駐輪・休憩スペースだと分かるように、サイン（看板）の設置を検討して欲しい	・休憩スペースであることを文字とピクトサインで示した看板を設置したい。
2	・普通の芝で天端を張芝すると、草が生えて人が入れなくなる可能性があり、維持管理（草刈り）が課題	・定期的に除草することは難しいことから、天端部分の張芝をやめてウッドチップ敷設に変更したい。

牛朱別川側帯(休憩スペース)

【休憩スペースの設計変更】

- サイクリストの利便性を高め、維持管理性を向上させることを目的として、側帯（休憩スペース）に看板を設置し、側帯の天端は除草が要らないウッドチップ敷設に設計を変更したい



牛朱別川側帯(サイン看板のデザイン)

【休憩スペースのサイン】

- ・デザインは、ピクトサインを基本としたい。
- ・色調は「石狩川上流サイン設置指針」の指定色を用いて既存の看板や周辺環境との調和を図る



QRコードはサイクルMAPへ



ピクトサイン(生成AI)



【参考】イラストバージョン
(生成AI)



大きさのイメージ(人物画像はフリー素材)

第2回分科会での主な意見と対応案

No.	意見	対応案
【ツインハーブ橋上流箇所】		
1	・この場所にもサインがあると利用者に分かりやすい	・親水広場があることを文字とピクトサインで示した誘導看板を、堤内側の取付道路の脇に設置したい
2	・車の乗り入れなど利用の手引きのような注意書きも必要	・親水広場の駐車スペースの脇に、利用上の注意事項を書いた注意看板を設置したい

ツインハーブ橋上流(誘導サインのデザイン)

【親水広場があることを示すサイン】

- ・親水広場があることを示した看板を、堤内側の取付道路の脇に設置したい
- ・デザインは、ピクトサインを基本としたい



ピクトサイン(生成AI)



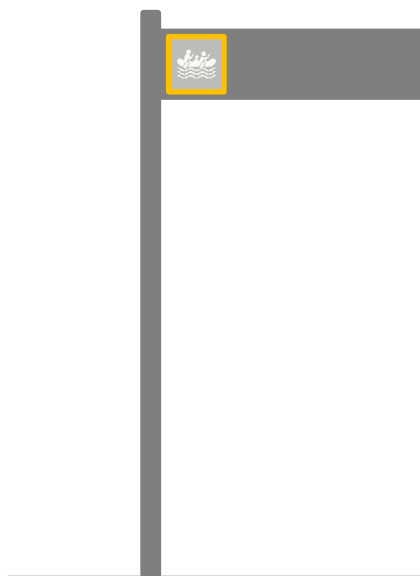
【参考】イラストバージョン
(生成AI)



色調A



色調B



※Google Earth (ストリートビュー) を使用

設置場所

ツインハーブ橋上流(注意サインのデザイン)

【利用の手引きとなる注意書きサイン】

- ・親水広場の駐車スペースの脇に、利用上の注意事項を書いた看板を設置したい
- ・デザインは、ピクトサインを基本としたい



旭川駅周辺かわまちづくり
親水広場(ツインハーブ橋上流)

親水広場の利用について

- ・親水広場への車の乗り入れは、カヌーやラフトボートの取り下ろし時にかぎり利用できます
- ・親水広場を利用するときは、必ずライフジャケットを着用しましょう。
- ・ひとりで川に入ることはやめましょう
- ・雨が降った後は、急に水かさが増えることがあるので注意しましょう
- ・ダムから水を流すときは、サイレンでお知らせします

※記載事項はアクティビティ分科会
にも照会して、最終決定したい



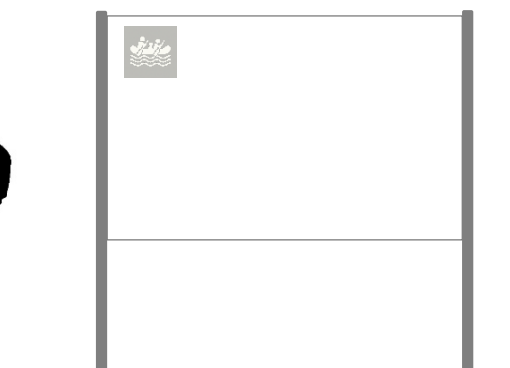
旭川駅周辺かわまちづくり
親水広場(ツインハーブ橋上流)

色調A



旭川駅周辺かわまちづくり
親水広場(ツインハーブ橋上流)

色調B

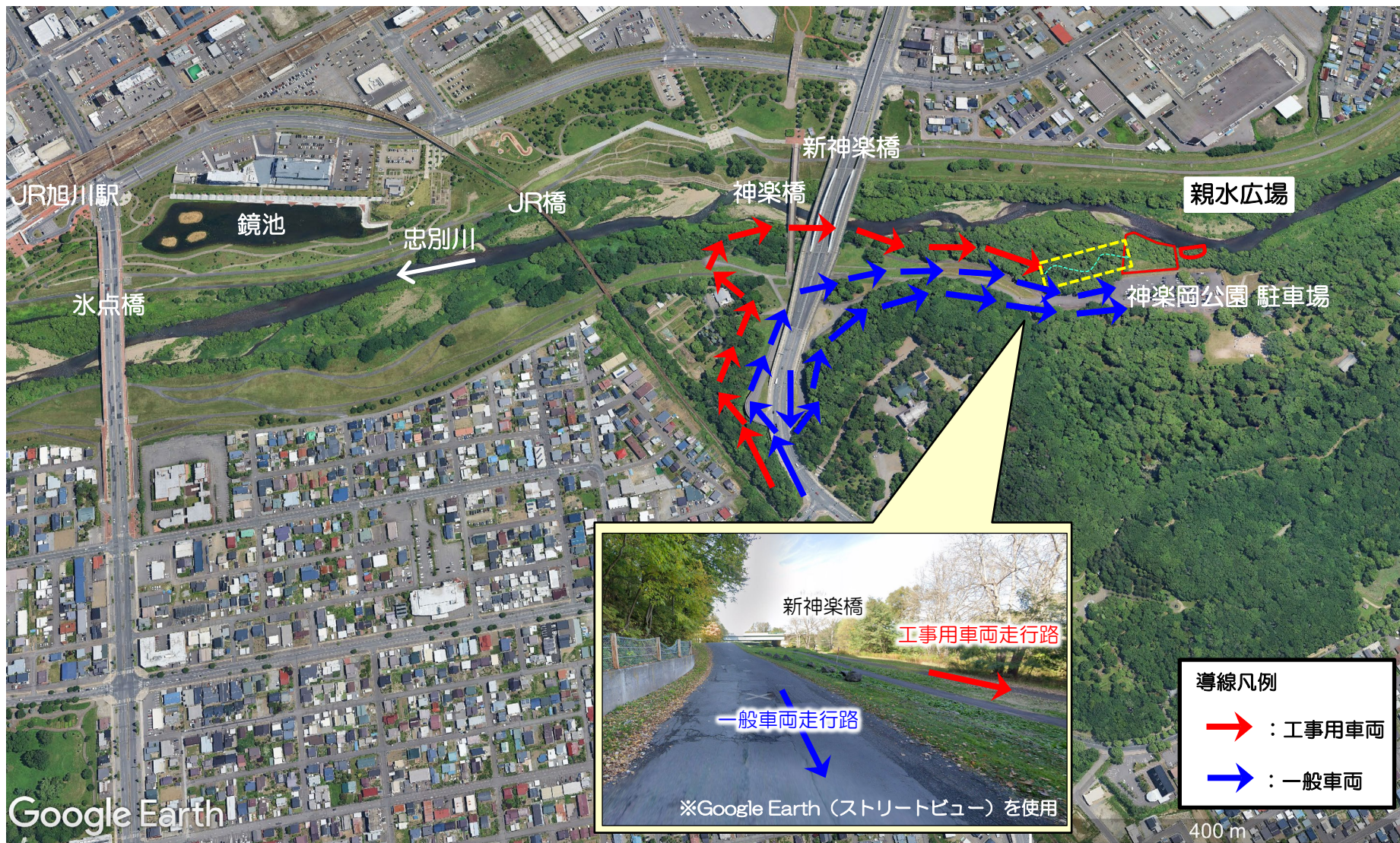


大きさのイメージ(人物画像はフリー素材)

神楽岡公園 工事用道路の必要性

◆工事用道路の必要性

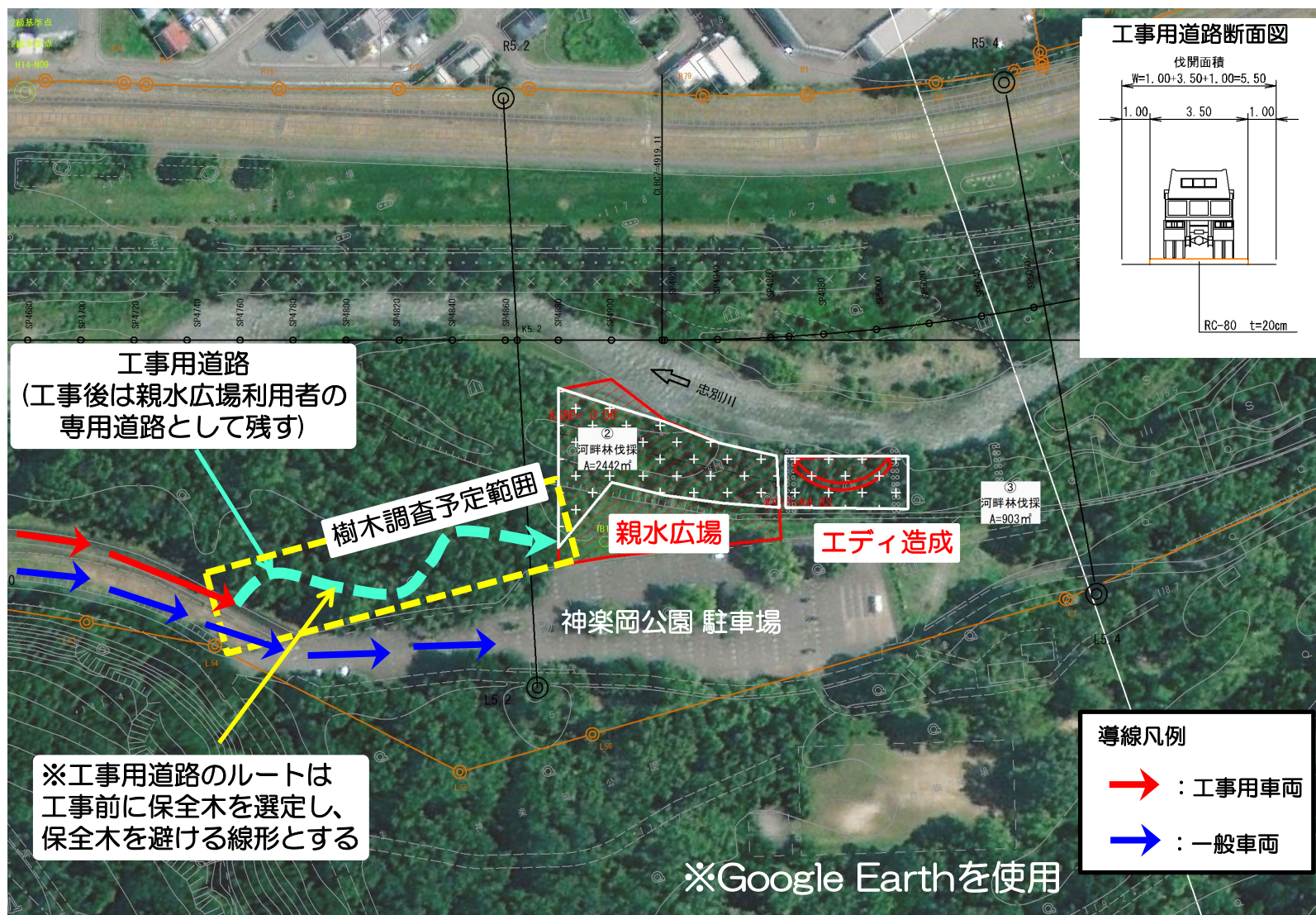
- ・ 神楽岡公園は利用者の車両の出入りが多く、工事に当っては安全管理に留意が必要
- ・ 親水広場の工事用道路は、一般車両と導線が輻輳しないよう、別ルートの計画とする



神楽岡公園 仮設平面図

◆親水広場の仮設平面図

- ・工事用道路は、親水広場利用者の専用道路として残す計画とする
- ・工事用道路のルートは工事前に植物調査(保全木選定)を行い、保全木を避ける線形とする



第2回分科会での主な意見と対応案

No.	意見	対応案
【JR 旭川駅南口箇所】		
1 親水広場	①水際の練石は、インブリケーション（覆瓦状構造～瓦のように積み重なり力学的に安定する構造）を意識して石を積んでほしい	【提案】水際の練石部は、法面に対し、控えを鉛直に据える形状に修正した
	②練石のアンジュレーションは、サインカーブよりも先端を尖らせた波形が良い	【提案】平面的に波型形状を検討
	③擬木や擬石など、場所により違うタイプのベンチを配してほしい	【分科会で確認】今後、詳細設計を行い、来年度の分科会で報告

No.	意見	対応案
【JR 旭川駅南口箇所】		
2 河道整正	①河道掘削法線が左岸側に寄ってるので、あと10m右岸側に寄れるような変更ができれば、もう少し左岸側が保全されると思う	【提案】河道整正の平面線形を右岸寄りに修正し、左岸側砂州上の樹木保全範囲を増やした
	②川はできるだけ蛇行していた方が良く、河道整正の上下流（紫色点線の範囲）を伐木・除根すると、水が被った場合に土砂が移動して、産卵床がなくなってしまう可能性があるのので配慮が必要	【提案】クリスタル橋・氷点橋周辺右岸の伐木・除根は、周辺の産卵床への影響等をモニタリングしたうえで、必要に応じ追加施工を行う計画としたい
	③河道掘削と産卵床の経年的な関係を定量的に整理して、次の分科会で提示してほしい	【分科会で確認】令和元～7年のサケ産卵床数について、忠別川全体に占める工事範囲の割合を工事前後で比較した結果、工事による影響は少ないと考える

旭川駅南口 親水広場の整備について

整備方針【修正後】

- ・河道整正の平面線形を右岸寄りに修正し、左岸側砂州上の樹木保全範囲を増やした
- ・クリスタル橋・氷点橋周辺右岸の伐木・除根は、周辺の産卵床への影響等をモニタリングしたうえで、必要に応じ追加施工を行う計画としたい



河道掘削と産卵床の関係

河道掘削と産卵床の関係

◆総括表

忠別川全体の産卵床数がほぼ同一のR1年（工事前）とR7年（工事後）
産卵床位置を重ね合わせて比較

区間	R1 サケ産卵床数	R2 サケ産卵床数	R3 サケ産卵床数	R4 サケ産卵床数	R5 サケ産卵床数	R6 サケ産卵床数	R7 サケ産卵床数
忠別川全体 KP0.0～KP9.4	157	160	274	325	392	246	154
工事実施区間 KP6.2～KP9.4	58	87	135	199	174	77	82
全体に占める 工事区間の割合 (%)	$58/157 = 36.9\%$	$87/160 = 54.4\%$	$135/274 = 49.3\%$	$199/325 = 61.2\%$	$174/392 = 44.4\%$	$77/246 = 31.3\%$	$82/154 = 53.2\%$
【参考】※ 北海道日本海側 サケ来遊数	1,057万尾	1,318万尾	1,471万尾	2,637万尾	1,798万尾	1,314万尾	498万尾

◆R1年とR7年産卵床位置の重ね合わせ結果



② サイクリング分科会

旭川市駅周辺かわまちづくり計画推進ワーキング

第3回 サイクリング分科会 開催概要

【開催日・場所】 令和8年2月26日（木） 10:00～11:30 旭川市役所 第二庁舎3階 会議室3C
【議事】 ①次年度設置予定のラック、②ラックに係るアンケート、③マップの掲示場所、④案内看板、⑤その他

分科会出席者	
荒屋 清美（分科会長）	旭川サイクリング協会
鈴川 雄太	旭川観光コンベンション協会
有馬 準	
佐藤 勉（座長）	ミズベリング旭川
事務局	旭川市 地域振興部 地域振興課
	旭川開発建設部 治水課・旭川河川事務所

分科会の状況



議事	分科会での主な意見
①	- 方向性としては、旭川駅の北側、南側、旭山動物園、協力店舗の4か所に5台程度のスポーツタイプのラックを置くことでどうか。 - 将来的には、駅南側にモニュメント（看板）と合わせて一定規模のラックを設置できないか。
②	やや項目数は多いと思うが、実施。
③	- アンケート結果から、観光物産情報センター、旭山動物園、旭川空港、道の駅に相談、調整、協議の上掲示したい。市民だけではなく、観光客の目に留まる場所、OMO7などのホテルにも置かせてもらうことを検討したい。 - 現在様々なマップがあり、最終的にはそれらの情報をまとめたもの、サイクリングする人がネットで調べようと思う情報をマップにしてはどうか。
④	- 駅南側にゲート型の看板が良いのでは。自転車利用者がメインで、それ以外の人でも発信できるようなデザイン、ゲートウェイとしてのデザインではどうか。 - まずはメインの駅南側にシンボリックなものを設置し、ツインハーブについては必要があれば設置を検討したい。
⑤	かわまちづくり計画についてOMO7に説明したところ、協力したいとのことだったので、次年度からサイクリング分科会に参加してもらいたい。

条件達成でポイント
2倍
39ショップ

Rakuten Mobile
特別優待キャンペーン
キャンペーンお申し込みとプラン利用開始で
他社から電話番号そのまま乗り換えの方は、
14,000ポイント
プレゼント
乗り換え以外の方は**7,000**ポイント
※その他条件あり

SUPER SALE
3/4 20:00-3/11 1:59
先行SALE 3/3 20:00~



詳しく 見る



詳しく見る



詳しく見る



詳しく見る



詳しく見る



詳しく 見る

デゴリー一覧

USBメモリ 名入れ

レーザーポインター 名入れ

マウス 名入れ

デスク・ラック

イス・チェア

脚立・踏み台

ワゴン

デスク周り

テレビスタンド

プロジェクタースクリーン

モニターアーム

壁掛け金具

サーバーラック

パーティション

パソコン周辺機器

マウス

キーボード・テンキー

スピーカー

Webカメラ

ヘッドホン・ヘッドセット

切替器・分配器

USBハブ

ケーブル

レーザーポインター

シュレッダー

LEDライト

アクセサリ

フィルター・フィルム

複数の自転車を 一括スタンド

最大耐荷重
50kg



【新品】サイクルイベントなどで自転車を複数 設置できる組み
簡単工具不要バースタンドです。

自転車スタンド 最大5台 レーススタンド 工具不要 サドル
掛け式 バイクスタンド バイクハンガー クロスバイク ロ
バイク フレーム サイクル EZ8-BYST5

商品番号：EZ8-BYST5

19,800円 送料無料

900ポイント(1倍+4倍UP) 内訳

ポイントアップ期間：2026/03/11(水) 01:59まで

17,800円で購入可! ※送料別
(楽天カード入会 & ポイント利用の場合)

楽天の自転車保険月々210円〜最大1億円補償

レビュー投稿で、次回使えるクーポンを差し上げます！

レビュー投稿をお願いします！

数量

— 1 +

⊕ かごに追加

🛒 購入手続きへ

お届け先

東京都

配送予定

3/10 14:00までの注文で最短3/12お届け

※お届け日は目安のため、正確な情報は注文確認画面でご確認ください。

配送情報

送料無料

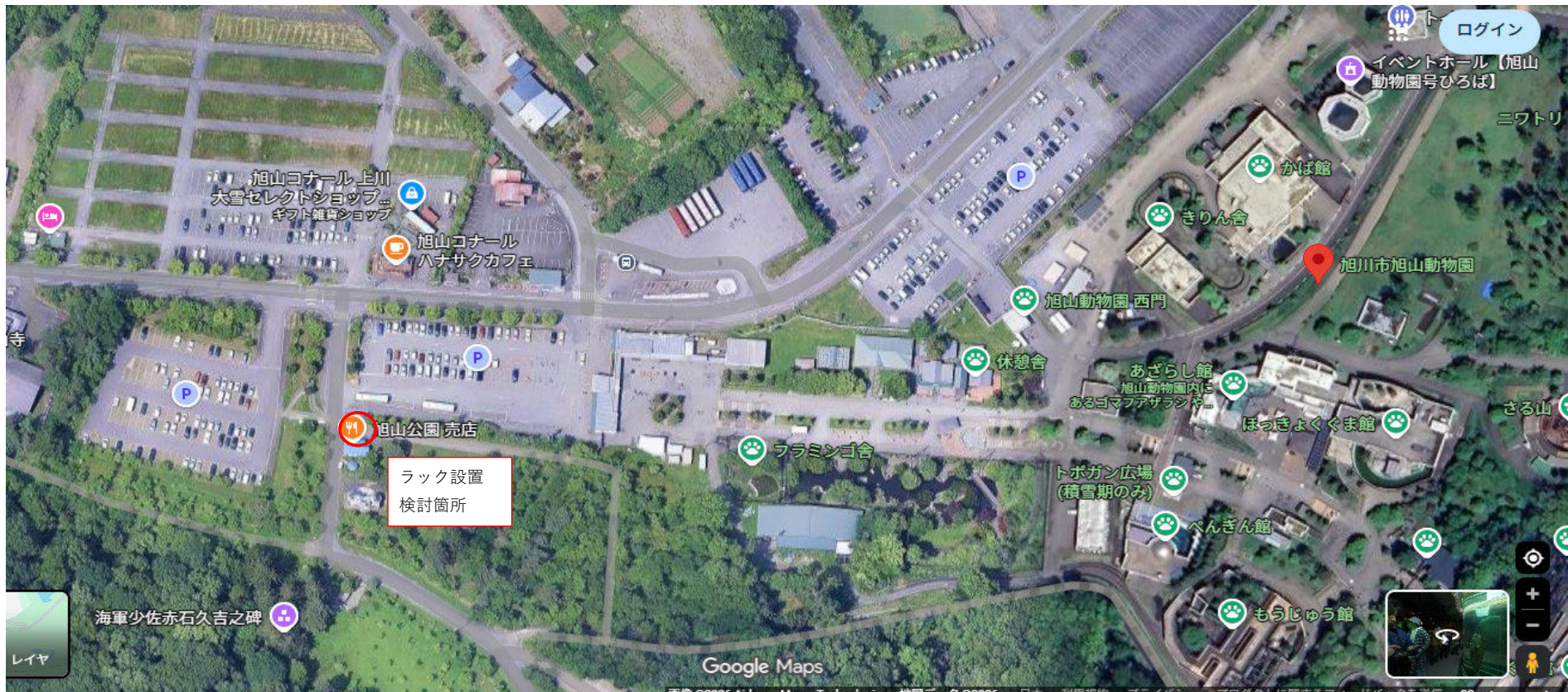
大型宅配便

送料無料ライン対象外

※離島・一部地域は追加送料がかかる場合があります。

旭川駅 ラック設置候補箇所





○アンケートについて

- 1 QRコードを看板に添付し、その場で読み込んで回答してもらう。
- 2 かわまち計画のHPもQRコードを添付し紹介。
- 3 アンケート結果について分科会で共有。検討すべき回答があれば議題に。

【アンケートの内容】

- ・年代
- ・性別
- ・自転車の利用頻度
- ・利用している自転車のタイプ
- ・かわまち計画を知っているか
- ・利用目的（行先）
- ・利便性（場所、時間帯）
- ・常設を希望するか
- ・何で知ったか
- ・他の希望場所について
- ・ラックの他にあればよいもの

サイクリング案内看板の事例

しまなみ看板



網走看板



しまなみロゴオブジェ



網走ロゴオブジェ



小樽看板



富山看板



福島看板



③ アクティビティ分科会

旭川市駅周辺かわまちづくり計画推進ワーキング

第1回 アクティビティ分科会 開催概要

【開催日・場所】 令和8年2月12日（木）10:00～11:15 旭川市役所 第二庁舎3階 会議室3C
【議事】 ①橋梁表示、②ツインハープ橋上流親水施設の利活用、③ツアー等継続に係る課題等、④その他

分科会出席者	
佐藤 勉（座長）	ミズベリング旭川
馬場 仁志	北海道カヌー協会
荻野 雄斗	大雪カムイミンタラDMO
オブザーバー	旭川市立大学 谷口 広明、旭川商工会議所 大沼 徳、グリーンテックス（株）豊島 匡孝、五十嵐 奨、遠藤 隆大、北海道AO 小瀬 祥太、旭川市 土木部 公園みどり課 和田 光矢、瀧新 悠介
事務局	旭川市 地域振興部 地域振興課
	旭川開発建設部 治水課



議事	分科会での主な意見
①	- 方向性としては安全性を考えて常設看板とし、サイズを小さくする、1枚看板にする等の経費削減、予算の補正、2か年整備等を検討し5橋設置できないか検討。 - デザインを公募してはどうか。 - 道路占用協議（道・市）が了承されないと先に進まないで、そこをクリアしてから看板のデザイン等を検討。
②	- ラフティング等で利用する場合、基本的には自由使用であり、大規模なイベント開催の場合に一時使用届を提出するといった一般的な河川のルールに従っていれば問題はなく、現場にルールを記載した看板を設置する方法でよいのではないか。 - プレーヤーにとって、利用の際に河川工事の情報は特に必要はない。 - 視認性、安全面について、ミラー等設置後に問題があれば、再度検討する。 - 看板で注意喚起することとし、自由使用の観点から親水広場側には車止めの設置は不要。
③	- 車止めを少しでもはずして車両の乗り入れができるように、公園管理者と協議する場を設けたい。 - 発着場の草刈りやゴミ処理は、行政が行わずともプレーヤー自身で実施したい。
④	- 安全管理については、ルール看板に水位観測所のQRコードを記載し、データを見られるようにするなど検討する。 - 指導者やガイドが水量を把握、情報提供したり、川に落ちた場合の対応を行うなどで安全面に配慮するのはどうか。 - カヌーなどを起爆剤にして、旭川市民が自慢できるようなかわまちづくり、シビックプライドが醸成できればと考えている。



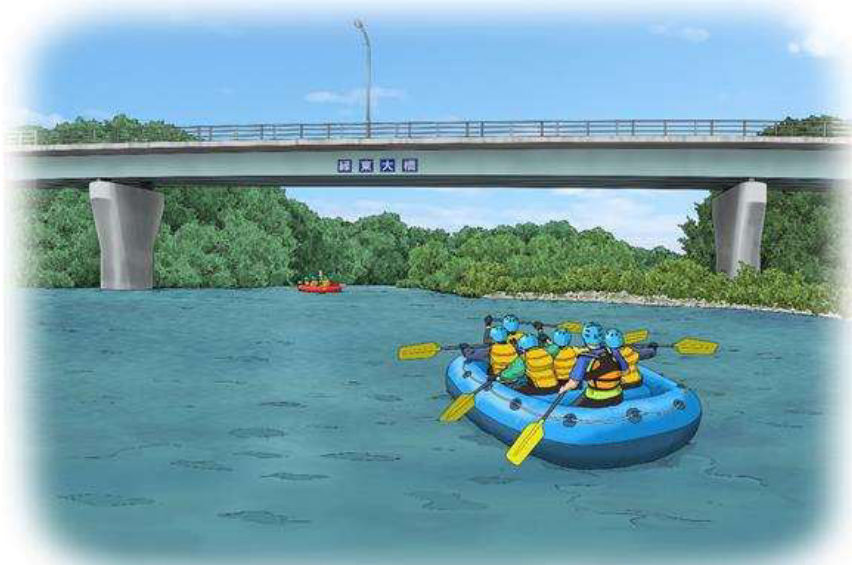
橋梁標示について（令和8年度施工）

整備計画について

【整備目的】

ラフティング等の水辺アクティビティ利用者が現在地を確認しやすいよう、ＪＲ旭川駅南口付近～ツインハープ橋間に架かる橋梁の桁に橋梁名を標示する。

(かわまちづくり計画P10より)



現地状況について①



【ツインハーブ橋】 管理者：北海道

桁材：コンクリート製

桁形状：斜



【緑東大橋】 管理者：北海道

桁材：鋼製

桁形状：垂直



現地状況について②



【大正橋】 管理者：旭川市

桁材：鋼製

桁形状：垂直



【新神楽橋】 管理者：北海道

桁材：鋼製

桁形状：垂直



現地状況について③



【氷点橋】 管理者：北海道
桁材：コンクリート製
桁形状：斜



整備手法について①



【整備手法の検討】

○整備に必要な要素

- ・見やすさ（視認性）
- ・デザインの統一性
- ・維持管理のしやすさ
- ・周辺環境への配慮
- ・コスト（施工性）



【標示場所①】橋桁への標示（整備計画案）

- ・各橋梁によって桁材や桁形状が異なるため、橋梁毎の工法検討が必要
- ・影や桁形状によって視認性が良くない箇所がある
- ・施工には橋梁点検車が必要で、施工費が高い

【標示場所②】高欄(橋の手摺)への標示

- ・どの橋梁でも視認性の確保が可能
- ・統一した形状での標示が可能
- ・橋梁点検車を要しないので、施工性が良い（コストが安い）

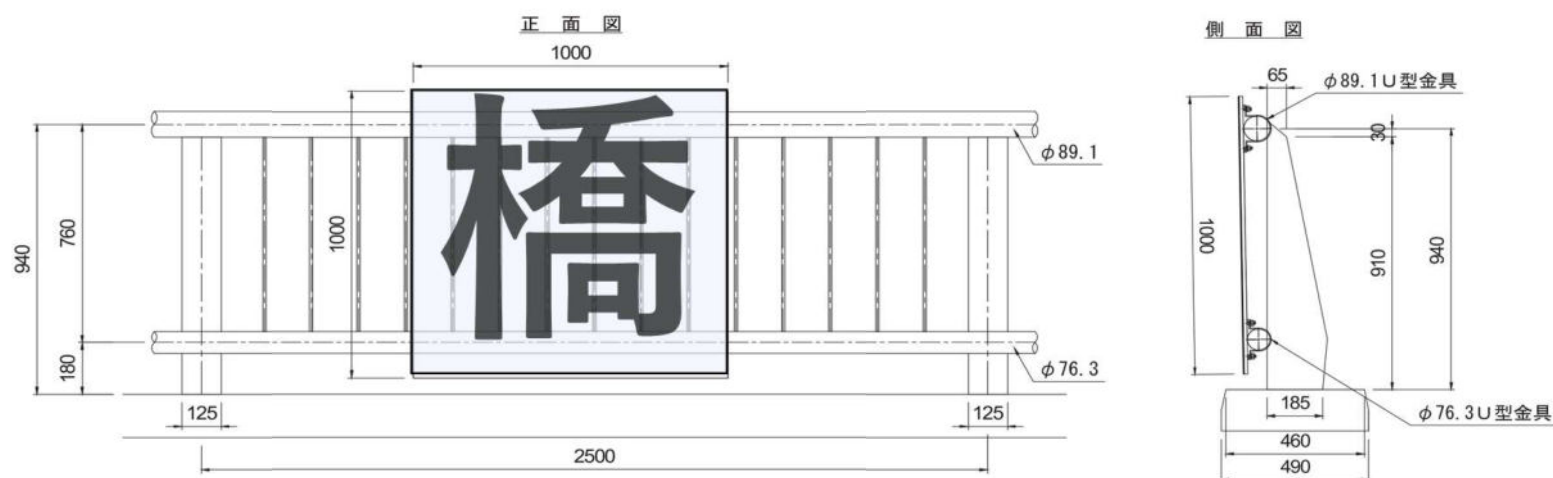


以上の検討から、標示場所については②を採用する

整備手法について②



【施工方法①】看板の設置（常設）



※図はイメージです
※風の影響を考慮し、一文字
ずつの盤面としています

- ・ 常設のため、維持管理手間がない（耐久性も高い）
- ・ 施工費・材料費が高い（予算的に最大4橋の標示となる見込み）

【施工方法②】横断幕の設置（仮設）

- ・ 施工手間、材料費が安価（全橋梁に設置可能）
- ・ 仮設のため、耐久性は劣る
- ・ シーズン毎の取り外しが必要（維持管理手間がかかる）

整備イメージ



【新神楽橋】

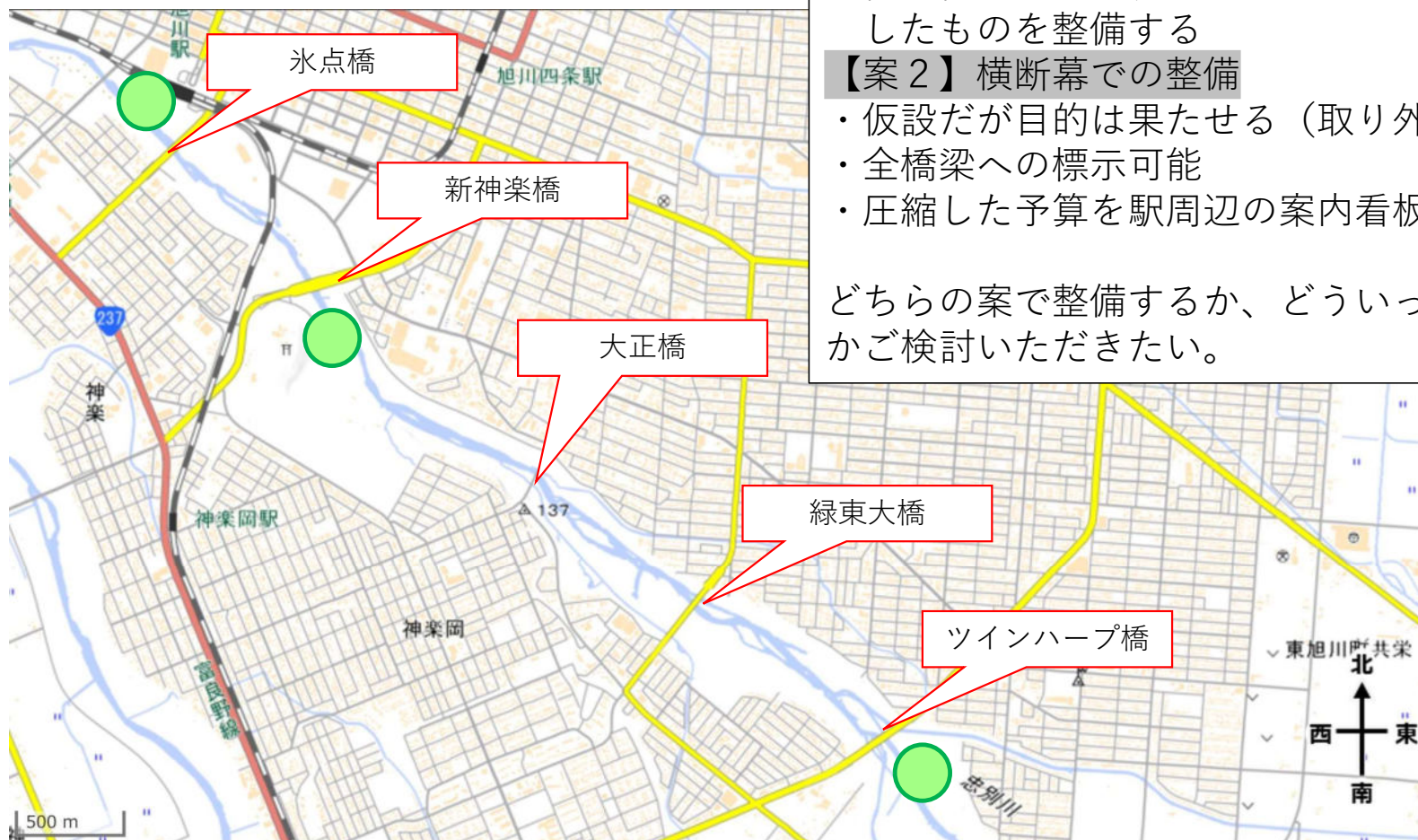


【緑東大橋】



設置箇所、整備の方向性について

主要橋梁は区間内に 5 橋（看板の場合、最大 4 橋）



【案 1】看板での整備

- ・ 橋梁標示として、全箇所を設置出来ないがしっかりしたものを整備する

【案 2】横断幕での整備

- ・ 仮設だが目的は果たせる（取り外し手間はかかる）
- ・ 全橋梁への標示可能
- ・ 圧縮した予算を駅周辺の案内看板整備に投入できる

どちらの案で整備するか、こういったデザインとすることが検討いただきたい。

●：親水広場

(3) 各事業の報告

令和7年度の事業について(1)

事業名	事業内容	実施時期	実施主体	実施場所
「あさひかわ子どもの水辺」サケの稚魚放流	サケの生態説明、サケの稚魚放流	4/12	あさひかわ子どもの水辺協議会 (事務局:旭川市土木部公園みどり課)	
科学館クラブ(いきもの地球クラブ)	ウグイ・フクドジョウなどの捕獲と観察	5/24, 25	旭川市科学館	忠別川(神楽橋付近)
野外活動「河原で石拾い」	様々な種類の転石を拾って観察	5/31	旭川市科学館	雨紛川(雨紛橋付近)
地学体験バスツアー	「神居古潭甌穴群」「魔人の頭」などの見学	6/1	旭川市科学館	石狩川(神居大橋付近)
科学館クラブ(いきもの地球クラブ)	トンボの幼虫「ヤゴ」の捕獲と観察	6/7, 8	旭川市科学館	伊野川支流(カムイの杜公園付近)
「あさひかわ子どもの水辺」水辺体験講習会	安全講習、川の生き物観察	6/14	あさひかわ子どもの水辺協議会 (事務局:旭川市土木部公園みどり課)	カムイの杜公園近くの伊野川
まちなかアクティビティinADW	北彩都ガーデン鏡池周辺でのアクティビティ(カヌー, SUP, 乗馬, ボディコンバット, e-bikeレンタル, ワークショップ等)	6/21, 22	大雪カムイミナタDMO	あさひかわ北彩都ガーデン
「あさひかわ子どもの水辺」親水体験イベント『川に学ぼう』	川下り、安全講習、川の生き物観察、防災講座	6/28	あさひかわ子どもの水辺協議会 (事務局:旭川市土木部公園みどり課)	旭橋下流左岸広場
かわまちフェス	音楽・ダンスフェス、フードトラック、水辺で乾杯	7/5	ミズベリング旭川	旭川駅南口及び北彩都ガーデン
「あさひかわ子どもの水辺」川の指導者育成学習会	川下り、安全講習	7/12	あさひかわ子どもの水辺協議会 (事務局:旭川市土木部公園みどり課)	旭橋下流左岸広場ほか
野外活動「水辺の生きもの観察」	水生昆虫の観察	7/12	旭川市科学館	忠別川(神楽橋付近)
第3回100kmサイクリングin旭川 併設開催 第69回全国サイクリング大会、 第63回全道サイクリング大会	かわのまち旭川を走ろう(忠別川、忠別ダム、永山新川、石狩川、北彩都をめぐるサイクリング)	7/27	旭川サイクリング協会 共催:日本サイクリング協会、北海道サイクリング協会	旭川市リベラインパーク・コミュニティランド(旭橋左岸公園駐車場)
サケ案内人養成講座	座学講座	8月	大雪と石狩の自然を守る会	神楽公民館他
「あさひかわ子どもの水辺」石ころアート体験	河原の石にペイント	8月中旬	あさひかわ子どもの水辺協議会 (事務局:旭川市土木部公園みどり課)	カムイの杜公園近くの伊野川(予定)
サケを迎える(カムイチュブノミ)	伝統儀式	9月	大雪と石狩の自然を守る会	旭橋下流左岸(R6実施場所)
第17回旭川ハーフマラソン	ハーフマラソン, 10kmコース, 2.5kmコースを実施	9/28	市	大雪アリーナ(スタート&ゴール)
野外活動「旭川層の観察」	河床の砂礫層「旭川層」を観察	10月中旬	旭川市科学館	石狩川(秋月橋付近)
野外活動「シロザケの産卵行動」	シロザケの産卵行動を観察	10月中旬	旭川市科学館	忠別川(未定)

令和7年度の事業について(2)

事業名	事業内容	実施時期	実施主体	実施場所
サケのゆりかごづくり(人工産卵床づくり)・ 発卵眼埋設	サケの産卵床づくり	11, 12月	大雪と石狩の自然を守る会	
野外活動「冬の自然観察」	スノーシューで忠別川沿いを散策	1/24	旭川市科学館	忠別川(神楽橋～富良野線高架付近)
北彩都歩くスキーコース	歩くスキーコースの設置	1月中旬～3月中旬	市	北彩都
サケ出発式(カムイノミ)	サケの稚魚放流	3月	大雪と石狩の自然を守る会	旭橋下流左岸(R6実施場所)
旭川観光レンタサイクル	自転車のレンタル(シティサイクル、クロスバイク、電動アシスト自転車等)	4/29～10/31	旭川観光物産情報センター (アクティビティセンター旭川駅)	
川のまち旭川 歴史探索マップ	旭川駅周辺、旭川空港周辺の川のまちマップ(データ提供) https://www.atca.jp/kawanomachi/	通年	旭川観光コンベンション協会	

(4) 重点的な活動方針に対する状況・
次年度の重点的な活動方針（案）

令和7年度における重点的な活動方針(最終報告)(1)

項目	概要	対応
サイクリング	◆サイクリングマップの公開と活用 ◆サイクルステーションの検討	・関連施設にサイクリングマップを掲示する →アンケート結果から、観光物産情報センター、旭山動物園、旭川空港、道の駅に掲示するため、相談、調整、協議中 ・見どころのテーマを変えたマップを作成する →現時点では既存のマップを活用 ・サイクリングコース上にサイクルラックや空気入れ等を試行的に設置する →旭川駅の北側、南側、旭山動物園、協力店舗の4か所に5台程度のスポーツタイプのラックを設置する方針 ・アンケートフォームによるサイクルステーションのニーズや効果の検証を行う →次年度にアンケートを実施
アクティビティ	◆イベント・アウトドアの企画と実施 ◆親水広場等の維持管理・運営手法の検討 ◆冬のアクティビティ利用の検討	・親水広場等を活用したイベント等の検討を行う →モニターツアーの継続について、課題等を整理、検討、関係者と協議 ・親水広場整備後の事業遂行に向けた、持続的な維持管理・運営手法の検討を行う →親水広場の利活用方法、維持管理ルールについて検討（ツインハーブ橋上流） ・冬期間の駅南を活用した取組の検討を行う →冬のレンタル事業の周知を実施
環境教育	◆教育機関との連携 ◆水辺事業の紹介	・旭川市立大学と連携し、学生の参画を目指す →事業への参画に向けて、連携を検討中 ・水辺空間を教育の場として活用してもらうため、教育機関への効果的な情報提供について検討する →環境・教育分科会で検討を行うための議題整理 ・まちなかキャンパス等における、学生による水辺事業の紹介について検討する →谷口ゼミがモニターツアーに参加

令和7年度における重点的な活動方針(最終報告)(2)

項目	概要	対応
ICT等を活用した情報提供	◆「かわ」に関する積極的な情報発信	・水辺のイベント等情報をSNSで積極的に発信する →かわまちづくり計画のHP及び市SNSにて発信 ・デジタルサイネージを活用した事業の周知を行う →デジタルサイネージを取得済
水辺利用のルール	◆水辺施設における運用ルールの検討	・水辺で行うアクティビティ等の運用ルールの策定について検討する →親水施設設計後に具体化できるため、次年度以降に検討
施設設計	◆親水広場の設計 ◆橋梁表示の設計 ◆案内標識の検討	・神楽岡公園・旭川駅南口の親水広場設計について協議を継続し、基本方針の合意を目指す →神楽岡公園の合意 ・橋梁表示の表示方法や位置等について協議し、基本方針の合意を図る →アクティビティ分科会にて方針を検討中 ・案内標識の機能やデザインについて検討する →サイクリング分科会にて検討中
その他	◆新たな担い手の確保・育成 ◆横の繋がりを意識した活動	・学校等との連携による若い世代の巻き込みを図る →環境・教育分科会で検討を行うための議題整理 ・各種イベントにおいてかわまち情報を掲示する →かわまちフェスにて掲示 ・各組織のアカウントで他組織の事業を紹介する →ニュースレターにて依頼

令和8年度における重点的な活動方針(案)(1)

項目	概要	対応
サイクリング	◆サイクリングマップの公開と活用 ◆サイクルステーションの検討 ◆サイクリング事業の検討	・関連施設にサイクリングマップを掲示する →観光物産情報センター、旭山動物園、旭川空港、道の駅等に掲示 ・見どころのテーマを変えたマップを作成する →新たなマップについて、引き続き検討 ・サイクリングコース上にサイクルラックや空気入れ等を試行的に設置する →旭川駅の北側、南側、旭山動物園、協力店舗の4か所に5台程度のスポーツタイプのラックを設置 ・アンケートフォームによるサイクルステーションのニーズや効果の検証を行う →ラックの設置に合わせ、アンケートを実施 ・観光事業者と連携したサイクルツーリズム等の検討
アクティビティ	◆イベント・アウトドアの企画と実施 ◆親水広場等の維持管理・運営手法の検討 ◆冬のアクティビティ利用の検討	・親水広場等を活用したイベント等の検討を行う →ラフティングツアーの継続、事業化に向けた取り組み →マネジメントチームの設置検討 ・親水広場整備後の事業遂行に向けた、持続的な維持管理・運営手法の検討を行う →各親水広場の利活用方法、維持管理体制について検討 ・冬期間の駅南を活用した取組の検討を行う →具体的な取り組みについて検討 →冬のレンタル事業の周知

令和8年度における重点的な活動方針(案)(2)

項目	概要	対応
環境教育	◆教育機関との連携 ◆水辺事業の紹介	・旭川市立大学等と連携し、学生の参画を目指す →事業への参画に向けて、引き続き連携を図る ・水辺空間を教育の場として活用してもらうため、教育機関への効果的な情報提供について検討する →総合学習で川を取り扱う上で必要な情報の集約を検討 →既存の組織・活動の有効活用を検討 ・まちなかキャンパス等における、学生による水辺事業の紹介について検討する →内容、手法等について検討 ・サケの遡上や水生生物など、忠別川の魅力を高める自然環境情報を発信

令和8年度における重点的な活動方針(案)(3)

項目	概要	対応
ICT等を活用した情報提供	◆「かわ」に関する積極的な情報発信	・水辺のイベント等情報をSNSで積極的に発信する →かわまちづくり計画のHP及び市SNSにて発信 ・デジタルサイネージ等を活用した事業の周知を行う →積極的な発信を図る
水辺利用のルール	◆水辺施設における利用ルールの検討	・水辺で行うアクティビティ等の利用ルールの策定について検討する →利用ルールの内容及び周知方法について検討
施設設計	◆親水広場の設計 ◆橋梁表示の設計 ◆案内標識の検討	・神楽岡公園・旭川駅南口の親水広場設計について協議を継続し、基本方針の合意を目指す →旭川駅南口について、引き続き環境・施設設計分科会で検討 ・橋梁表示の表示方法や位置等について協議し、基本方針の合意を図る →アクティビティ分科会にて方針を決定し、施工 ・案内標識の機能やデザインについて検討する →令和9年度施工に向け、サイクリング分科会にて方針を決定
その他	◆新たな担い手の確保・育成 ◆横の繋がりを意識した活動	・学校等との連携による若い世代の巻き込みを図る →旭川市立大学の学生のWGへの参加 ・各種イベントにおいてかわまち情報を掲示する →引き続きかわまちフェス等で掲示 ・各組織のアカウントで他組織の事業を紹介する →引き続きニュースレターにて依頼

(5) 次年度のスケジュール

次年度のスケジュール(案)

月	「旭川駅周辺かわまちづくり計画」推進WG	
	利活用	施設整備
4月		
5月	第1回環境・教育分科会	
6月	第4回サイクリング分科会（案内看板検討）	
	第9回推進WG（当該年度の活動内容共有（ハード整備も含む）、意見交換）	
7月		
8月	第2回アクティビティ分科会	
9月		第4回環境・施設設計分科会
10月	第10回推進WG（当該年度の活動内容共有（ハード整備も含む）、意見交換）	
11月	第5回サイクリング分科会（案内看板決定）	
12月		第5回環境・施設設計分科会
1月		
2月	第11回推進WG（当該年度の活動実施内容共有、次年度の活動内容共有、推進方針の点検等）	
3月		